

病院だより

Vol. 388

SHOWA Medical University Fujigaoka Hospital

自分の細胞で膝軟骨を修復する —変形性膝関節症にも保険適用が広がった自家培養 軟骨移植術—

整形外科 講師 佐藤 敦

News

「第56回市民公開講座」振替開催について
「がん患者・家族サロン」開催について
産婦人科外来からのお知らせ

Report

患者さんからのご意見・ご要望

編集後記

「体調調整え、夏をたのしみましょう」

看護部 高木 睦子

August

8

月号

SHOWA Medical University Fujigaoka Rehabilitation Hospital



昭和医科大学

自分の細胞で膝軟骨を修復する —変形性膝関節症にも保険適用が広がった自家培養軟骨移植術—

藤が丘病院 整形外科 講師：佐藤 敦

膝の軟骨は大切なクッションです

膝関節の骨の表面は、なめらかな「関節軟骨」で覆われています。関節軟骨は、骨どうしの摩擦を減らし、歩行や階段昇降で膝にかかる衝撃をやわらげる大切な組織です。しかし、加齢、けが、半月板損傷、脚の変形などによって傷むと、痛みや腫れ、引っかかり感、動かしにくさが生じます。関節軟骨には血管がほとんどなく、一度大きく損傷すると自然には治りにくいという特徴があります。

自分の軟骨細胞を育てて移植します

自家培養軟骨移植術は、患者さん自身の膝から健常な軟骨を少量採取し、取り出した軟骨細胞を専用施設で培養して、軟骨が欠損した部分へ移植する治療です。自家培養軟骨「ジャック®」では、軟骨細胞をゲル状のコラーゲン素材（アテロコラーゲン）の中で約4週間培養します。治療は注射だけで完結するものではなく、最初に関節鏡で軟骨を採取し、培養後に改めて移植手術を行う、二段階の治療です。移植後は段階的なリハビリテーションを行い、痛みの軽減と膝機能の改善を目指します。

2026年1月、変形性膝関節症にも保険適用

ジャック®は、これまで外傷性軟骨欠損症や離断性骨軟骨炎に使用されてきました。2026年1月1日から、一定の条件を満たす変形性膝関節症にも保険適用が拡大されました。変形性膝関節症に対しては、運動療法などの保存療法を行っても症状が改善せず、軟骨欠損面積が 2cm^2 以上あることなどが条件となります。これまでの薬物療法や運動療法に加え、自分の関節をできるだけ温存するための新たな選択肢が増えたといえます。

すべての膝に適する治療ではありません

この治療は、すべての変形性膝関節症の方に適しているわけではありません。軟骨欠損の位置や広さ、膝の変形の程度、骨の状態、半月板や靱帯の機能、全身状態などを詳しく調べ、日本整形外科学会の適正使用指針に基づいて膝関節専門医師が判断します。変形が進行している場合には、運動療法、装具、注射、骨切り術、人工膝関節置換術など、別の治療が適していることもあります。また、「元の軟骨が完全に戻る」ことを保証する治療ではなく、治療効果には個人差があります。

膝を残す治療を適切な時期に

膝の痛みを「年齢のせい」と我慢している間に変形が進むと、選択できる治療が限られることがあります。歩行時の痛み、繰り返す腫れ、引っかかり感、階段の上り下りのつらさが続く場合には、早めに整形外科へご相談ください。画像検査だけでなく、生活や仕事、スポーツ活動、ご希望も踏まえ、膝を残す治療から人工関節まで、一人ひとりに合った治療を考えることが大切です。



昭和医科大学藤が丘病院 がん患者・家族サロン

令和8年 **9月12日** (土) 10:00～11:00

第1部

「薬物療法中の生活

～アピアランスケアについて～」 (レクチャー)

講師：がん化学療法看護認定看護師

第2部

交流会

会場： B棟6階AB会議室
対象者： がん患者さん、ご家族
定員： 10名
参加費： 無料

※オンライン配信はございません

申込締切

9/10

事前申込制



電車でお越しの方

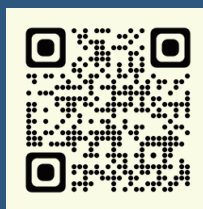
・東急田園都市線 「藤が丘」駅下車 徒歩5分

車でお越しの方

・東名高速 横浜青葉ICより5分
・国道246号線 藤が丘より2分

<申込方法>

電話あるいは
右のQRコードより



連絡先

045-971-1151 (代表)
昭和医科大学藤が丘病院
管理課
がん患者・家族サロン担当

<お問合せ>

昭和医科大学藤が丘病院 管理課



045-971-1151

管理課 がん患者・家族サロン担当

月～金曜日 8:30～17:00
(祝日除く)

～産婦人科外来よりお知らせ～

当産婦人科では、6月中旬より女性医師が平日初診外来を担当できる体制といたしました。初診時に女性医師の診察を希望される方は、受付時にお申し出ください。
診察順序は前後する可能性がありますので、ご理解のほどお願いいたします。
なお、再診以降は、より専門的な診察を提供するため、疾患や治療内容に応じて男性医師が担当させていただきます場合があります。あらかじめご了承ください。

	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)
初診 担当医	宮本真豪 (長坂 彩)	森岡 幹 (水谷あかね)	小池 亮 (水谷あかね)	水谷あかね (森岡 幹)	佐々木康2,4,5 松浦 玲1,3 (高橋 沙椰)

*赤字の医師が女性医師となります

2,4,5：第2,4,5週目
1,3：第1,3週目



Report

患者さんからのご意見・ご要望

日々患者さんからいただきましたご意見・ご要望は、病院内全体で共有しております。掲載されていないご意見・ご要望につきましても別途対応しております。今後もお気づきの点がございましたら、お聞かせくださいますよう、お願い申し上げます。



ご意見・ご要望

このたび通院証明書の文書料が、事前の告知もなく5,500円から11,000円に倍額となっております。以前から記入漏れや仕上がりの遅さがあり、対応の丁寧さや迅速さに改善の余地を感じています。金額を上げるのであれば、その分、安心して任せられる品質とサービスを向上させていただきたいとします。病院は患者に「希望」や「生きる力」を与える場所です。その信頼を損ねないよう、より誠実な取り組みを願っています。

回答・改善内容等

文書料金については、料金の据え置きとするため鋭意努めてまいりましたが、物価高や諸経費の値上がりに伴う人件費の上昇は著しくなっております。また、文書の多様化および文書内容の複雑化などを受けまして、料金を改定させていただくこととなりました。患者様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、諸事情ご賢察の上、ご理解とご協力を賜れますようお願い申し上げます。また、記入漏れや仕上がりの遅さ等については、書類作成にかかわる全スタッフと共有し、注意してまいります。

【藤が丘病院 医事入院課】

ご意見・ご要望

回答・改善内容等

1階の休憩場所ですが、いつもゴミ箱がいっぱいであふれそうです。ゴミを捨てる人が多いのかと思っていましたが、朝8:00利用OKの時間でも半分以上ゴミが入ってました。清掃員はテーブルだけ拭いてゴミは片付けないようです。改善して下さい。

ご意見ありがとうございます。担当者に聞きましたところ、昼頃に回収しているとの事で、これから朝に回収に行く様に時間変更する様、担当者に伝えました。
これからもご意見よろしくお願いいたします。

【昭友商事】

旗の台へ移られたA理学療法士へ
A理学療法士いろいろとお世話になりましてありがとうございました。
私は又一週間強位ですが、入院しました。
(4/1) 4/2の日にB医師にパーキンソンのビデオを見せてもらいました。
前回入院の時早くパーキンソンでは？と言っていたので今の生活がなりたっています。
早期に薬を服用したからでしょうね。
本当にありがとうございました。
ボチボチですが、リハビリをつづけていきますね。
そちらの方でもたくさんの人を助けてあげて下さいね。
OTのC作業療法士も前回お風呂に入れるようにしていただき、心より感謝しています。よろしくお伝え下さいね。お元気で…

このたびは、心温まるお言葉をいただき、誠にありがとうございます。
担当理学療法士にも必ずお伝えいたします。前回の入院時の関わりが、早期診断や治療開始につながり、現在の生活の支えとなっていることを拝読し、私どもも大変嬉しく感じております。
日々前向きにリハビリテーションを継続されているご様子は、スタッフ一同にとって大きな励みです。
担当者は異動いたしました。異動先におきましても患者様に寄り添った支援を続けていることと思います。当センターといたしましても、今後も安心してリハビリに取り組んでいただけるよう努めてまいります。

どうぞお身体を大切にお過ごしください。

【リハビリテーションセンター】

編

集

後

記

体調整え、夏をたのしみましょう

梅雨が明け、本格的な夏が始まります。今年は5月から最高気温30度越えのニュースがあり、夏には毎年危険な暑さのニュースを耳にします。私が子供の頃は、朝・晩には気温が少し下がり、過ごしやすい時間帯もありました。最近は、日中は危険な暑さ、夜には熱帯夜の連続、体の疲れが溜まる一方です。クーラーや扇風機を上手に使いながら、水分摂取を心掛けて、自分の身体を守りましょう。そして、夏は高校野球や花火大会、地域の盆踊りなどのイベントもたくさんあります。日々の生活の楽しみも私たちの活力になります。

体をいたわりながら、楽しみを見つけて、夏を乗り切りましょう。



広報・公開講座委員会：高木 睦子（藤が丘病院 看護部）

藤が丘病院
藤が丘リハビリテーション病院

8月号

August 2026

「病院だより」通巻第388号
令和8年8月1日発行
【毎月発行】

発行責任者：昭和医科大学藤が丘病院 病院長 鈴木 洋

編集責任者：広報・公開講座委員会 委員長 森岡 幹

編 集：広報・公開講座委員会



病院だより



昭和医科大学